

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 6年 1月 17日

協議会名: 須崎市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
須崎市	南～須崎線	<p>市営バスの利用促進に向けては、須崎市ホームページ等での継続的な情報発信をし、待合空間については須崎局前や西崎児童公園前にベンチを設置した。なお、ベンチについては、十分な設置場所が確保でき、かつ土地所有者との協議が調った箇所から順次設置していく。</p> <p>市営バスの乗り方や乗降場所の周知のため、関係機関と連携して「市営バスおためし乗車ツアー」を実施した。参加者からは「市営バスへの乗り方や運行路線が分かって良かった」等の感想が聞かれ、好評であったことから引き続き取り組みを進める。</p>	A 計画通り、事業は適切に実施できた。	<p>【乗客数】  目標達成率:79.9%  目標 :22,705 人  実績 :18146.5 人  対前年比 :94.1%  対前々年比:93.3%</p> <p>【運賃収入】  目標達成率:87.9%  目標 :4,186,000円  実績 :3,677,800円  対前年比 :82.6%  対前々年比:84.5%</p> <p>【収支率】  対前年比 :1.1%  対前々年比:1.0%</p> <p>乗客数は目標を下回ったものの、前年・前々年とほぼ横這いで同水準を維持しており、市民の移動手段として役割を果たした。今後は利用者を増やすため、さらなる周知に取り組むとともに、他の公共交通機関との接続による利便性向上を図る必要がある。</p>	<p>市役所前のバス停は歩道が狭く危険なため、須崎警察署側の歩道の幅が広い箇所への移設を検討する。</p> <p>また、以前より要望の多い、多ノ郷駅前(北側)を通る路線の計画を継続して行う。</p> <p>なお、JR等、他の公共交通機関への接続については、スムーズな乗り継ぎが可能となるよう関係機関等と運行時刻の協議を行う。</p> <p>市営バスの利用促進に向けては、利用者が分かりやすい公共交通マップを検討し、広く周知を図るとともに、引き続き須崎市ホームページ等での継続的な情報発信やバス停へのベンチ設置等を計画的に行っていく。</p>